

「みんなの党」支持政党として3位に躍進!

2010年1月現在

報道機関のアンケート調査によると、政党支持率で3位に躍進。

「みんなの党」はまだ小さな政党ですが、今年7月の参議院選挙を控えた現段階で全国有権者の期待が飛躍的に高まっています。

政権交代には新しいことをやってくれるという大きな期待が寄せられていたわけですが、いまやその期待が急速に失望に変わりつつあります。新しいと思った政党が「政治とカネ」という古い体質を指導部が色濃く持っている、そしてそれに対してモノ申す声が内部から出てこない、「モノ言えば唇寒し」というわけです。みんなの党は、徹底した行政改革、地方分権、経済の成長戦略に取り組む、真の意味での改革政党です。特定の団体や組織がバックについているわけではありません。しがらみのない、クリーンな政党です。渡辺代表以下、日夜弛まず勉強しながら、政策に関して活発に意見交換をしています。数をたのみに、説明責任も果たさない、「民主的でない」政権運営をしている与党の非を正し、子や孫の世代に向け、責任を持って日本を正しい方向に導くための存在感を高めていきたいと思えます。

中西けんじの主張 確かな経済成長戦略を!

政府は経済成長戦略がないという強い批判に応えるかたちで、昨年暮れの12月30日に新成長戦略なるペーパーを発表しました。

基本的に経産省や国交省の政策を寄せ集めたものだと思いますが、環境・エネルギーや医療・介護といった6つの戦略分野で成長を牽引していくとし、29ページにわたるペーパーの27ページをそれらの記述に割いています。わたしはこれらの6分野での成長を否定するものではありませんが、3点指摘したいと思えます。

1. このペーパーはあくまで「基本方針」という位置づけで、詳細な内容については政府は「6月までにまとめる」とのことですが、6ヶ月間もかかるというのはどう考えても遅すぎます。経済は生き物です。物凄いスピードで動いています。政府の切迫感のなさに驚かされます。

2. この切迫感のなさから透けて見えるのは、政府には本当に成長戦略を先頭に立てて引っ張っていくという覚悟がないのではないかと、ということです。アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)を構築するというひとつを挙げても、とても粘り強い交渉と利害調整が必要となるのは明らかです。政治の強いリーダーシップが肝要です。覚悟がないだけでなく、経済通のいない今の政府にはひょっとするとこういったことを遂行する能力も不足しているのかもしれない。

3. 更にはマクロ経済運営に関する記載はたったの2ページしかありません。6つの戦略分野を足し上げてその大きさは日本全体の経済規模の2割未満しかないだろうと思われまます。残りの8割、他の多くの産業に関する政策が提示されていません。いかに多くの民間企業の知恵や投資を引き出ししていくかという解がないのです。解がないばかりか、そういった発想すらも乏しいのかもしれない。私は更なる規制緩和と法人税減税を含む税制改正が必要だと考えています。企業の活力を引き出さねば日本に成長はありません。

中西けんじ プロフィール

- 生年月日
1964年1月4日
- 経歴
 - 東京大学法学部卒
 - 1988年
新卒でJPモルガン入社。
 - 2006年
JPモルガン証券株式会社
取締役副社長
 - 2009年
7月同社退社、
8月横浜市長選挙出馬、
87万4626票を獲得
するも惜敗。
- 趣味
登山、ジョギング、
サーフィン、読書
- 好きな言葉
「人生常にチャレンジ」
- 好きな食物
焼き鳥



◀ 昨年12月初旬のみんなの党参議院神奈川県第1支部の設立以来、毎日一日も欠かさず神奈川県内の各所で政策ビラ配り、街頭演説を行っております。みんなの党の認知度を高めたい、私たちの草の根的な活動が夏までに強い根を神奈川県内の広い地域で張り巡らせることを目標としています。「みんなの党頑張れ!」という励ましを沢山の方から頂いております。

地域ボランティアスタッフ大募集

- 街頭での政策ビラ配布、軽作業。
- 政策ビラのポスティング。

神奈川県内各地で活動を実施致しております。ご都合の良い活動現場へのご参加をよろしくお願い致します。

表面の申込書に必要事項を明記し、ファックス又はみんなの党参議院神奈川県第1支部までお持ち下さい。